令和2年度の

事業のポイント

東日本台風からの復旧・復興と防災・減災対策に重点 的に取り組み、災害に強いまちづくりを進めます。

「子育て・教育のまち」、「農林業・商工業・観光のまち」、 「健幸・福祉のまち」の3つを軸に事業を展開し、次 世代に「安心の輪」をつなげる取り組みを進めます。



詳しくは、本紙と一緒に配 布する「令和2年度 伊達 市事業説明書」をご覧くだ

災害復旧・防災・減災

主な事業と予算額

- ・豪雨災害発生時の内水・浸 水対策に取り組みます。
- ・東日本台風からの復旧と、災 害対策、防災対策の強化を 図ります。



- 避難情報収集伝達事業 2,970 万円
- 災害(防災)対策事業 4,189 万円
- 内水対策事業 1,185 河 など

農林業・商工業・観光のまち

- ・企業誘致や就農支援など働 く場の確保に取り組みます。
- ・歴史や文化などの地域資源 を生かした交流人口の拡大 を図ります。



- 起業支援事業 430万円
- 雇用促進事業 280万円
- 企業誘致推進事業 1億7,984万円
- 続就農支援事業 2,800 万円 など



子育て・教育のまち

- ・ネウボラ事業や認定こども 園の整備で、切れ目のない 子育て支援をします。
- ・学校の改築など教育環境を 整備します。



- 伊達市版ネウボラ事業 2,892万円
- - 伊達小学校改築事業
- 5億6,500 河

放課後児童クラブ建設事業 2億5,999 万円 など

健幸・福祉のまち

- ・住み慣れた地域で元気に活躍で きるよう元気づくり会などの施 策に取り組みます。
- ・支援が必要な人が自立して日常 生活を送れるよう支援します。



- 健康運動習慣化支援事業 3,449 万円
- 2,309 万円 健幸都市推進事業
- 地域生活支援事業 8,495 万円
- 避難行動要支援者対策事業 502 5円 など











3つの軸 「産業」「子育て」

り組み、若い世代の地元人口減少への対応に取

問

政課財政係

進めます 災害に強いまちづくり と防災対策に取り 本台風からの復旧 たらした、 ることができるように、 が安心 予算としました。 市内に甚大な被害をも 減災につい ・安全に生活す 令和元年東日 市民一人ひと 、て見直 復興 É めます 支援や教育の充実を 魅力的な地域づくり さらに、

子育て世代にとっ

7 図

を進

民生費 28.4% 92億9,360_{万円}

労働費

0.1% 1,647_{万円}

高齢者や支援

議会費

0.7% 2億4,070万円

総務費 11.8% 38億5,568元

歳出合計

327億

2,204万円

農林水産業費

10億7,915河

ため、 祉施策を推進しま 躍できる社会を構築す を必要とする人が、 れた地域で安心 健幸都市施策や福 して活 住 み

予備費 0.3% 1億円

災害復旧費 13.4% 43億7,737万円

教育費 10.7% 35億375_{万円}

定着や 促進するため、 規就農支援 地の造成、 く場の確保を図り また、 一伊 外から 企業誘致や などによる 達市版 新工業!)ます。 ネ ウ

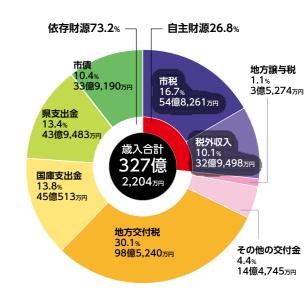
魅力をさらに磨き上げる

 \mathcal{O}

令和2年度予算の

特徴

ボラ事業」などの子育て 住 依存財源73.2%



○当初予算の概要

商工費

6億4,627万円

消防費 4.6_% 15億2,108_{万円}

会計名称			予算額	前年度比
一般会計			327億2,204万円	△ 4.7%
特別会計	国民健康保険特別会計		64億5,549万円	△ 2.8%
	後期高齢者医療特別会計		8億7,948万円	11.9%
	介護保険特別会計		74億9,989万円	2.6%
	粟野地区農業集落排水処理事業特別会計		1,430万円	△ 26.8%
計	工業団地特別会計		1億5,702万円	79.5%
	月舘宅地造成事業特別会計		2,218万円	△1.7%
	財産区特別会計(12 会計)		1,887万円	34.8%
下水道事業会計(公営企業会計)		収益的支出(※ 1)	8億8,999万円	100%
		資本的支出(※ 1)	8億 663 万円	100%
水道事業会計(公営企業会計)		収益的支出	17億4,453万円	0.9%
		資本的支出	8億5,111万円	26.7%

※ 1: 公共下水道事業特別会計は、令和 2 年度から公営企業会計「下水道事業会計」となるため皆増

だて市政だより 2020.5 | 6